



テーマ 私が
起こしたい
変化

6/15金
必着

国際ユース作文コンテスト


主催 / 公益財団法人 五井平和財団

後援 /  文部科学省

 日本ユネスコ国内委員会
Japanese National Commission for UNESCO

日本私立中学高等学校連合会 東京都教育委員会 **NHK** 日本経済新聞社

協賛 /  **SEIKO**


UNESCO Global Action Programme on
Education for Sustainable Development

2018年度 国際ユース作文コンテスト

国際ユース作文コンテストは、平和の文化と持続可能な地球社会を築いていく上で、子どもや若者たちのエネルギーと創造性、自発性を生かすとともに、あらゆる世代の人々が彼らの発想から学び、より良い世界のために何ができるか、それぞれに考え、行動することを奨励する目的で毎年開催されています。

※本コンテストは、ユネスコの持続可能な開発のための教育(ESD)に関するグローバル・アクション・プログラムを推進する事業です。

テーマ

「私が起こしたい変化」

あなたは、自分の学校、職場、地域、あるいは国、世界をより良いものにするため、一番「変えたいこと」は何ですか。そして、どのようにその変化を起こしていきたいですか。具体的なアイデアを書いてください。

応募資格

子どもの部 (小学生・中学生)
若者の部 (高校1年生から25歳まで)

応募規定

1. 日本語、英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語のいずれかで応募してください。ワープロ可。鉛筆で手書きをする場合は、Bまたは2Bで濃く書いてください。
2. 日本語の場合、1600字以内。外国語の場合、700語以内。(文字数・語数は本文のみ)
3. 作品には表紙をつけ、次の①～⑩を明記してください。(不備の場合は選考対象になりません)
①部門(子どもの部または若者の部) ②タイトル ③氏名(フリガナ) ④現住所(含郵便番号)
⑤電話番号 ⑥Eメール ⑦国籍 ⑧年令(2018年6月15日時点) ⑨性別 ⑩所属(学校名・学年)
⑪文字数(外国語の場合は語数)
4. 応募作品は自作、未発表のものに限ります。盗作が判明した場合は失格となります。
5. 応募作品は返却しません。
6. 応募作品の著作権は主催者に帰属します。
7. 学校等の団体で応募される場合は、応募者名・年令一覧と担当指導者名を添付してください。(書式自由)

※ 団体応募の書式は、五井平和財団のウェブサイトからダウンロードすることもできます。

※ 応募作品の受領確認は行っていません。

※ ご応募の際の個人情報は国際ユース作文コンテストの目的以外には利用いたしません。

応募方法

郵送またはEメール(下記応募宛先まで)

応募締切

2018年6月15日(金) 必着

各賞

- ◎ 文部科学大臣賞……………各部門 1点 (賞状と賞金10万円、副賞)
- ◎ 優秀賞……………各部門 2点 (賞状と賞金5万円、副賞)
- ◎ 入選……………各部門 5点 (賞状と副賞)
- ◎ 佳作……………各部門 25点 (賞状と副賞)
- ◎ 努力賞……………該当者がいる場合 (賞状)
- ◎ 学校特別賞……………該当校がある場合 (賞状とトロフィー)
- ◎ 学校奨励賞……………該当校がある場合 (賞状)

また、応募者全員に参加賞をお送りします。

※ 文部科学大臣賞の受賞者は、2018年11月23日(祝・金)に東京で開催される授賞式にご招待します。

※ 選考結果に関するお問合せには、回答していません。

発表

2018年10月31日(水)に五井平和財団ウェブサイト(www.goipeace.or.jp)にて各賞を発表します。各賞の賞状および副賞は、12月中旬に発送予定です。

選考委員

委員長

千 玄室 (茶道裏千家前家元、ユネスコ親善大使)

西園寺昌美 (公益財団法人 五井平和財団会長)

成田純治 (株式会社博報堂取締役相談役)

松浦晃一郎 (一般社団法人 アフリカ協会会長、元ユネスコ事務局長)

矢崎和彦 (株式会社フェリシモ代表取締役社長)

都倉俊一 (作曲家、一般社団法人 日本音楽著作権協会特別顧問)

服部真二 (セイコーホールディングス株式会社代表取締役会長兼グループCEO)

美内すずえ (漫画家)

葉 祥明 (絵本作家)

* 敬称略・50音順

応募宛先 問合せ先

〒102-0093 東京都千代田区平河町1-4-5 平和第1ビル
公益財団法人 五井平和財団 「国際ユース作文コンテスト」係
essay@goipeace.or.jp www.goipeace.or.jp 電話 03(3265)2071



平成 30 年 4 月 吉日

全国小中高等学校、特別支援学校
学校長 各位

2018年度 国際ユース作文コンテスト

作品募集のお知らせ

拝啓 陽春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

公益財団法人 五井平和財団は、「ユネスコ（国連教育科学文化機関）との公式関係を有する財団」として、平和で持続可能な社会の実現に向けた教育事業や普及啓発事業を行っております。

このたび、ユネスコの持続可能な開発のための教育（ESD）に関するグローバル・アクション・プログラム（GAP）を推進する事業として「2018年度国際ユース作文コンテスト」を実施いたします。（後援：文部科学省、日本ユネスコ国内委員会、日本私立中学高等学校連合会、東京都教育委員会、NHK、日本経済新聞社／協賛：株式会社フェリシモ、セイコーホールディングス株式会社、プラス株式会社）

国際ユース作文コンテストは、平和の文化と持続可能な地球社会を築いていく上で、子どもや若者たちのエネルギーと創造性、自発性を生かすとともに、あらゆる世代の人々が彼らの発想から学び、より良い世界のために何ができるか、それぞれに考え、行動することを奨励する目的で、毎年異なるテーマを設定しています。今年は、「**私が起こしたい変化**」というテーマで作品を募集いたします。

つきましては、添付の応募要項を、国語科、社会科、英語科等の各教科やユネスコクラブ、ボランティア部等の部活動や委員会等のご担当の先生方に、ご周知・ご回覧いただけますと幸いです。

2017年度国際ユース作文コンテスト（155カ国から合計15,441作品応募）の入賞作品は、当財団ホームページ（<https://www.goipeace.or.jp/work/essay-contest/>）にてご覧いただけます。

また、2017年度応募校（団体）よりご回答いただきました「作文コンテストの取組みに関するアンケート」の結果も添付いたしますので、どうぞご参照ください。

貴校の児童・生徒の皆様、自由で個性あふれる作品のご応募を、主催者一同、心よりお待ちしております。（応募作品は濃い筆記用具をご使用下さい。）

重ねまして、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬 具

○ 団体応募に関するお知らせ

当財団ウェブサイト上に、郵送にてご応募される学校（団体）用の書式（Excel形式 <https://www.goipeace.or.jp/work/essay-contest/>）をご用意しておりますので、どうぞご利用ください。（任意の書式でも構いません）

※作品の選考はすべて選考委員会にて行いますので、事前の校内選考はご不要です。

◇ お問い合わせ先

〒102-0093 東京都千代田区平河町1-4-5 平和第1ビル

公益財団法人 五井平和財団 「国際ユース作文コンテスト」係

電話 03(3265)2071

FAX 03(3239)0919

essay@goipeace.or.jp

www.goipeace.or.jp

2017年度国際ユース作文コンテストの取り組みに関するアンケート結果

2017年度国際ユース作文コンテスト(テーマ「自然から学ぶ」)に応募いただきました国内外の学校(団体)に対し、アンケート調査を実施しました。以下、結果概要です。

参加の形態について

- 授業の一環(国語、社会、英語、総合的な学習の時間)
- 児童・生徒の任意参加
- 宿題など

取り組みに際して工夫した点(抜粋)

- ・過去の優秀作品を読んだり、関連図書を読んだりした。
- ・長期休暇や連休の際に宿題と課している。今回は環境をテーマに授業で事前に説明し、生徒各自が興味関心を持っていることに対して作文を書いてくるよう指導した。
- ・都内に学校があるため、自然について意識する機会があまりなく、何をしてもよいかわからない生徒が多くいたが、他教科で学んだ広い視野や身近な自然などと照らしあわせて考えさせることができた。図書室にいつて調べることや、話し合い、グループワークを行うことで「自然から学ぶ」ことを考えた。
- ・現代の多様な諸問題に向き合うきっかけとして活用している。
- ・取り組みたいという希望のあった生徒と対話しながら練り上げていった。
- ・毎年国語の授業で中1～中3の全生徒で取り組んでおり、この時期の課題として定着してきている。
- ・SDGsについての説明をおこない、17の目標に基づいて書くように指導した。
- ・総合的な学習の時間での環境教育や国語の学習などを通し、「自然から学ぶ」について考えた。
- ・生徒の日記の中に自然への愛着を感じたので、今までの思い出をたくさん話し合った。本人が自分の作文に満足感をもっているのがよかった。
- ・1年、2年と移動教室(林間、臨海学校)があるため、その経験を作文にさせた。
- ・ポスター掲示で生徒の目につくようにした。

コンテスト全般に関するご感想やご意見など

- ・応募者全員に参加賞をいただけるので、生徒の意欲が高まる。
- ・大変意義のあるテーマで生徒に考える、そして表現する機会となっている。また、学校奨励賞をいただき生徒ともども励みになっている。
- ・入賞作品がいずれも見事な内容ばかりで感動した。いずれ授業の中でフィードバックのための取り組みに活用しようと思う。
- ・毎年、テーマが多岐にわたっていて、生徒たちが物事について深く考えるためのよい材料になっている。
- ・世間に目をむけるきっかけにもなり、楽しく取り組むことが出来た。
- ・参加した生徒がとても頑張れたので、次はもう少し多くの生徒に組みませようと思っている。
- ・時期、文章量とともに課題としやすい量だった。
- ・学校生活は生徒にとって大変忙しいのでなかなかまとまった作文を書く機会がない。このような歴史のあるコンテストに参加することで、生徒たちにとっては大変勉強になったと思う。
- ・広い視野で物を見るよいきっかけとなるテーマだったと思う。